

フクシマ連帯キャラバン報告書

今回、初めてフクシマ連帯キャラバンに参加しました。

3月4日から3月7日までの活動を通じて、知らないこと、そして知ろうとしないことは罪なのではないかと思わされました。

2日目には、震災当時のままの状態が残された家を訪問したり、東日本大震災・原子力災害伝承館を見学した際、心が苦しくなり、悲しい気持ちが何度も込み上げてきました。

また、市区町村役場に赴いた際には、震災から15年が経った今でも、地震や津波などの複合災害を十分に想定していないのではないかと感じたので、質問してみたところ曖昧な回答が多い印象を受けました。

現地でしか経験できないことや体感できないことの大切さを知り、今までの自分の考え方や思いがどれほど薄かったのか、改めて恥ずかしく思いました。

今回、多くの資料や現地の方々の声を聞き、このような貴重な時間と経験を通して感じたことを、今後は自分の周りの人達にも伝えていきたいと思います。

最後にフクシマ連帯キャラバンを企画・運営して下さった東北地方の皆様、4日間共にキャラバン隊として活動した全国の皆様ありがとうございました。

関東地方横浜支部日本高速分会
青年部員 小松 優一